



公立大学法人富山県立大学
News Release

事務局教務課

【本発表に関すること】

担当：情報研究係垣内 電話：0766-56-7500（内線）1229

【本件に関すること】

担当：工学部機械システム工学科 講師 寺島 修

電話：0766-56-7500（内線）1385

電子メール：otera@pu-toyama.ac.jp

令和2年3月23日

高効率な生産活動を実現する 工場内生産設備の自動高精度予知保全技術の開発

～令和元年度・富山県IoT導入モデル事業・対象事業の成果紹介～

少子高齢化に伴う労働人口低減社会の到来を見据え、令和元年度・富山県IoT導入モデル事業費補助金による支援を受け、県内企業と本学教員が共同でIoTを活用した工場内生産設備の自動予知保全技術の開発を行いました。下記日程で研究成果を公開しますのでご案内します。

1 日時・内容

令和2年3月30日（月） 13:30-15:00
工場内生産設備の自動予知保全システムの紹介

2 場所

北陸建工株式会社（滑川市安田 200-8）

3 主な研究参画者

北陸建工株式会社、菱越電機株式会社（株式会社陽幸エンジニアリング）、
富山県立大学

4 成果の概要（別紙ご参照）

この事業では、工場内で稼働する生産設備の故障・破損を事前に自動予測し、その情報に基づき設備のメンテナンスや稼働のスケジュールの作成を可能とすることで、人手をかけずに労働生産性の向上を図ることを目的として研究開発を進めています。

この目的の達成に向け、北陸建工株式会社の主要設備である油圧プレス機械を対象に、IoTを活用した自動予知保全技術・システムの開発を行い、この度稼働を開始しました。現在、経験則による故障・破損の予知に加え、今後に向けた設備の動作データの取得を進めております。

5 今後の展開

現在蓄積中のデータに基づく機械学習を繰り返し行い、設備の予知保全アルゴリズムの向上による予知保全精度の向上を図り、さらなる労働生産性の向上を図ります。また、工場内の他設備への展開・導入を検討いたします。